

令和元年度事業報告

I、植樹事業特定資産

1、大阪府「枚方土木事務所門真工区」植栽一式

讃良川、岡部川沿いを新たな桜スポットとし、散歩やハイカーに安らぎを与え、地域のランドマークとして地域の花づくりや防災活動の場として利用する。維持管理は堀溝自治会や社会福祉法人香西会等とも協力して行うこととした。(335万円)

2、大阪府「大阪羽曳野線道路休憩施設」植栽一式

松原ジャンクションの下に新たな商業施設を開設するにあたり、官民連携による道の拠点として道路休憩施設を作った。多目的スペースの隣接部をソヨゴ、シマトネリコ、エゴノキなどで緑化し、憩いの場を創出した。(430万円)

3、大阪府「俊徳道駅前交差点」植栽一式

近鉄大阪線と JR おおさか東線の結節する俊徳道駅前交差点の歩道敷地内をトチの木とサルスベリで緑化し、駅の乗降客に憩いの空間を提供した。(172万円)

4、大阪府「安威川ダム」植栽一式

2022年の安威川ダム完成に向けて、ダム建設で伐採されたクヌギなどの里山再生と、紅葉で有名な大門寺までのダム堤体の景観を取り戻すため、平成27年から5年継続して植樹をした。今年はやまザクラを5本植樹した。(50万円)

5、大阪府「生物多様性センター」植栽一式

「水生生物センター」の建替えを機に水陸合わせた生き物に関する研究センターとして羽曳野で行ってきた里山に生息する生き物に関する調査研究部門を合流させて、「生物多様性センタ」として里山エリア造成のため植樹をした。多様性の名の通り、桜、杉、槇、竹と種類が幅広い。(740万円)

6、守口市「桃町緑道公園」植栽一式

緑道公園の桜が50年を経過し老木となったため、公園を整備しなおして桜のトンネルを復活させる3年計画の2年目。満開のタイミングの違う桜11本を植え、桜を長く楽しめる工夫をした。(870万円)

7、岸和田市「東岸和田駅前西口ロータリー」植栽一式

JR 東岸和田駅の高架化に伴い、これまで出入口のなかった西側に駅前広場を整備した。東側と西側のそれぞれに樹高11メートルのシマトネリコをシンボルツリーとして植樹した。(660万円)

- 8、寝屋川市「東寝屋川駅前線」植栽一式
JR 学研都市線東寝屋川駅に近接する都市計画事業は総合病院、商業施設、飲食施設を誘致して、駅前線にふさわしい賑いを創出する。その一環として、歩道に 30 本のハナミズキを植えて緑の空間を作った。 (925 万円)
- 9、泉大津市「穴師公園」植栽一式
大阪みどりの百選にも選ばれている「泉穴師神社の森」から参道を通じて穴師公園まで、樹木の老朽化と自然災害により樹木が大幅に減少し、緑豊かな公園の特徴が失われつつある。ソメイヨシノ 10 本とクスノキ 14 本を植栽して緑の空間を復活させた。 (870 万円)
- 10、忠岡町「町道吉井線街路樹」植栽一式
忠岡町の緑の基本計画において吉井線は重点道路となっているが、現在植えられているコブシは老朽化が進み閑散としている。町役場前を中心に紅白のハナミズキと寒椿 900 本を植えて景観づくりを行った。 (950 万円)
- 11、大阪市「天下茶屋公園」植栽一式
昨年の台風被害により工事が遅れ、31 年度の着工となった。ラカン楨、エゴノキ等 136 本を植樹した。 (165 万円)
- 12、大阪市「咲洲みなみ小中一貫校」植栽一式
校舎の増築工事により樹木を撤去したためハナミズキ、キンモクセイ、こでまりなど 568 本を植えて復旧させた。 (375 万円)
- 13、大阪市「瓜破西小学校」植栽一式
地域と学校が一体となって「学校に森林の香りを」をテーマに取り組んでいる。ハナミズキ、ハナカイドウ、エノキなど 222 本を植樹した。 (360 万円)
- 14、大阪市「茨田北小学校」植栽一式
校舎の増築工事により樹木を撤去したため、ソメイヨシノとヒラドツツジで復旧させた。 (198 万円)
- 15、大阪市「岸里小学校」植栽一式
校舎の増築工事により樹木を撤去したため、あじさい、くちなし、久留米つつじなど花木で復旧させた。 (192 万円)
- 16、大阪市「神津小学校」植栽一式

校舎の改築工事により樹木を撤去したため、ソメイヨシノ、久留米つつじなどで復旧させた。(150万円)

17、大阪市「南市岡小学校」植栽一式

校舎の改築工事により樹木を撤去したため、ソメイヨシノ、ドウダンつつじ、ガクアジサイなど花木 186 本で復旧させた。(130万円)

18、「大阪市立大学」植栽一式

①杉本キャンパス田中記念館周辺およびグラウンド周辺が今年の台風で被害を受けたため、ソメイヨシノ、イペなど花木で修復した。

②阿倍野の大学病院のエントランス部分にカルミアを植えて花で飾った。

(800万円)

19、大阪府「緑化事業」普及啓発協賛

京セラドームで開催されたドリカムのコンサート会場の入り口で、入場者に花の種を配布して大阪府の緑化の取り組みをアピールするイベントに協賛した。

(817,200円)

延期 大阪市「巽公園」植栽一式

公園の拡充に伴い植樹を計画していたが、土壌調査が必要となり、計画は延期された。

遅延 大阪市「中之島バラ園」植栽一式

差し芽したバラの苗の芽つきが遅れたため、令和 2 年 5 月に植える。

II、緑化事業積立資産

1、大阪府「中之島にぎわいの森づくり事業」植栽一式

中之島にぎわいの森づくり事業は、水都大阪のにぎわいを取り戻すために 2010 年からスタートし、中之島の遊歩道整備や橋のライトアップなどとともにシンボルツリーを植えて点灯セレモニー等のにぎわいを作ってきた。中之島水上劇場前にドイツトウヒを植えて点灯イベントを行った。シンボルツリー 7 本のうち 4 本は黒田緑化事業団の寄付である。(220万円)

以上総合計 86,737,200円

【内訳】

植樹事業特定資産 84,537,200円

緑化事業積立資産 2,200,000円